

こんにちは。

イタリア語会話リスニング教材「Ascoltiamo in italiano 2」の  
作者フィオレンツァです。



Ascoltiamo in italiano 1 で学習された方々から寄せられたメッセージを拝見したところ、多くの方から感謝の気持ちを伝えていただき、また、続編に期待を寄せている学習者がいらっしまったことで、シリーズの続編となる Ascoltiamo in italiano 2 の制作に燃えるような情熱が芽生えたのでした。もちろん、当初から続編制作の計画を立ててはいたのですが、予定は未定となる可能性もあっただけに、学習者から届いたメッセージが私の心を動かし、やる気を与えてくれたと確信しています。

Ascoltiamo in italiano 1 のテキストだけの制作期間が5か月もかかって大変だったことは、忘れられないことの一つとなったのですが、今回の Ascoltiamo in italiano 2 のテキスト制作期間は、その2倍の10か月もかかってしまったのでした。

このように長くかかってしまった理由としては、初級・中級向けのテキストとは違い、中級・上級向けテキストの内容は、端的に言って、文法なども難しくなり、この難しいイタリア語の文法をどのようにしたら学習者がより簡単に理解できるかについて熟考したからです。

そして、検定試験の内容も上級レベルになればなるほど難しくなり、その難しい問題でもより多くの方が解けるようにと、スクリプトの内容とそれを聞いての練習問題が中・上級レベルの検定試験にも対応できるように意識したことで、気が遠くなるような長い期間がかかってしまったのです。でも、一つ一つの要素を手抜きせず、フィードバック

をかけながら、しっかりと表現した結果、テキストは、流れのある、そして、読者の興味を引く魅力あるスクリプトが完成したのです。

そのスクリプトを音声で聞いている練習問題は、簡単な問題から始まって、より難しい問題でも解答できるようにグラデーション的にどんどん前に進んで解けるように工夫を凝らしており、リスニング+練習問題+解答+スクリプト+語彙の完璧なテキスト構成となっております。

他の市販されているリスニング教材は、主人公が急に変わったり、流れの無いシーンが断続的、スポット的に表現されていることが多いようです。

本リスニング教材は、3人の主人公の生活を巡る一連の流れのあるストーリーが描かれているので、親しみの湧く表現に触れていただくことができ、イタリア語会話小説を聞くように、又は、小説を読むように、次の展開はどのようになるのか等と興味も湧き、聴きたい気持ちや読みたくなる気持ちにさせてくれます。

また、最近の実際にある話題を巡っての役に立つ会話を意識して制作されていることから、実際のイタリアのいろいろな知識として、教育、仕事、健康、スポーツ、旅行、環境、経済等に関連した情報の吸収にも役立てていただきたいと思います。

本リスニング教材は、もちろんリスニング強化の為に役立ててほしいのですが、同時に、特に上級レベルの学習者には、硬い文法にこだわった表現だけではなく、イタリア人が話すような、より自然的な会話にも慣れてほしいので、会話の中に普段よく用いられる

熟語を幾つか取り入れました。これらの熟語を用いて話すように心がけていただくことで、一つ上にステップアップを図ってほしいと願っております。

そして、リスニング力強化と同様に、作文力の向上にも役立ててほしいと思います。会話には、検定試験に出てくるような長文読解のスク립トも盛り込んであるので、作文を書くときの参考にされると、より見事な作文が作れるようになるのです。

例えば、お仕事や経済について、或いは、健康や環境について等、いずれかに関連するテーマの作文を書かれる場合に、スク립トを見ていただくと分かるように、それらに関連する重要なキーワードが沢山含まれておりますので、スク립トの中の語彙や表現や文法などをお手本にした作文を書かれるように意識することで作文力が見違えるほど向上するものと確信いたします。

更に、紙のテキストとは違ったデジタル時代の電子書籍としてのメリットを追求し、スク립トの内容で分からない単語があれば、瞬時に語彙ページにアクセスして、分からない単語の意味を確認し、再びスク립トに戻れるようにリンクを各会話に埋め込みました。

また、スク립トを聞いてからの練習問題においても、各練習問題のすぐ下にリンクを埋め込み、瞬時に解答ページにアクセスできるようにもしました。

そして、目次ページにもリンクを埋め込み、各章の練習問題、解答、スク립ト、語彙のページに瞬時移動が出来るようになりました。

このように、今すぐ必要なページに瞬時にアクセスすることができ、語彙や解答を確認

し、再び直ぐに同じ場所に戻れるようになったのです。

リスニング力の強化はもちろん、作文の上達を目指す学習者にも多い利用してほしいです。

そして、現在、新聞や書籍などの最新の話題として取り上げられているコンテンツを核として、仕事、環境、健康、経済、統計等に関係する豊富なキーワードが盛り込まれているので、膨大なボキャブラリに接することになり、その中で分からない単語を学習者が理解できるように総数 2,129 単語が日本語に訳されています。

実際に調べてみたのですが、中・上級クラス向けのイタリア語リスニング教材を書店やインターネット上で探してみると、驚くほど少ないことが分かります。

イタリア語会話を学ぶ学習者にとっては、イタリア語会話を実際に聴くことやその聴いたイタリア語会話をどれだけ理解できているのかをチェックすることがとても大切な要素となります。

実際にイタリアに旅行されてイタリア語会話を聴くこともよろしいのですが、旅行で会話を勉強しようとしても、行き当たりばったりの会話しかできず、且つ、断片的な会話しか期待できず、会話を学ぶ観点から見ると、どうしても限界があります。

イタリア旅行では、本リスニング教材で習得したイタリア語会話を実際にイタリア人と話をしてみて、どれだけ話せるようになったかを確認し、確実に話せたと言う自信につながればよろしいかと思います。

本リスニング教材では、様々な分野の実際に多く出会うシーンの会話が豊富に盛り込まれていますし、それらの会話を何度も繰り返して聴くことで、聴けば聴くほど、自然にイタリア語会話能力が向上するようになります。

総数 80 会話(Dialogo)が収録されたイタリア語会話リスニング用音声ファイルを 1 つの会話ずつ何度も繰り返し聞いて下さい。

本リスニング教材においては、イタリアに会社設立をされた日本企業の社長さんに、実際にインタビューをさせていただいた時の会話が盛り込まれており、将来、学習者がイタリアで起業する場合やイタリアの企業に就職する際にも、ご参考になるインタビューのやり取りが収録されています。

特に、中・上級レベルの学習者向けのリスニング教材を制作する際には、インタビュー形式の会話も貴重なコンテンツの一つとして以前から盛り込むことを考えていたので、私が講師を務めるイタリアーノ塾の生徒さんでもある社長さんにご相談させていただき、本リスニング教材のインタビュー形式の会話が実現しました。

また、会話の中で話している事柄は、実際に実在する情報を基に調査して記載しており、リスニング能力の向上だけにとどまらず、会話に用いられている情報は、実際に新聞や書籍などでも取り上げられている話題の最新情報を参考にしており、統計データも含め、イタリアの真の姿を捉えることが可能な情報として必ずお役にたつものと信じています。